

JAPAN BRANDを世界へ。



JAPAN EXPO IN RUSSIA 2012

出展のご案内

会 期： 2012年11月28日(水)～29日(木)
会 場： ロシア連邦・モスクワEXPOCENTRE

開催にあたり

ロシア経済はリーマンショックからの回復後堅調な成長を継続し、2011年は約4%、2012年も同程度の成長が予測されています。2012年は秋にAPEC首脳会合を控えるほか、2014年にソチ五輪、2018年にはサッカーワールドカップ開催が予定され、引き続き建設を中心とした旺盛な需要が産業全体に波及していく事が期待されます。また、2011年12月にはWTO加盟も正式に承認され、今後世界の対口貿易が急増すると共に、世界貿易におけるロシアの重要性が増すことが確実視されています。

こうした状況を踏まえ、日本企業のロシアへの進出支援とビジネス交流の活発化を目的とした商談・交易の機会として、JAPAN EXPO IN RUSSIA 2012を、今年のプレ開催に続き今年秋にモスクワにて開催する予定です。今年はビジネスマッチングの機会増大により焦点を絞るべく、現地パートナー候補企業との1対1の商談機会を主軸とし、ご出展企業の参加効果を最大化するようプログラムを設定致します。

また、本会の開催にとどまらず、企業の皆様の長期的な進出プロセスを多面的にサポートすべく、現地事情に多くの知見を有する企業群から形成されるコンソーシアムを結成する予定です。各方面の有識者の方々よりアドバイスを得ることにより、進出リスクを最小化し、現地市場への長期的な浸透に結びつけることを企図しております。

本企画が、ロシア市場の現状と潜在力に関するより深い理解のための一助になる事を確信しております。

海外進出に関心のある企業の皆様の積極的なご参加をお持ち申し上げる次第です。

JAPAN EXPO IN RUSSIA 2012 とは

- ①「食」「住環境」「産業・技術」「カルチャー」をテーマにした BtoB マッチング商談会
- ②出展企業に合わせたバイヤーがモスクワ会場に集結、出展企業と1:1アポイントを事前設定
- ③事前にお申込頂いた商品サンプルをロシア側バイヤーに届け、商品への関心を喚起
- ④露日双方の商品輸出入推進及び、公正な契約締結に関わる公的機関が後援、協力

★ロシアへの販路開拓、拡大を図る企業に最適なビジネスチャンス

★海外進出候補としての現地市場視察と人脈作りとしても絶好の機会

～是非 JAPAN EXPO IN RUSSIA 2012 にご参加下さい～

2012年はAPEC開催とWTO発効を控えてロシア経済も一段の飛躍が期待され、現地経済との接点を築く絶好の機会です。是非JAPAN EXPO IN RUSSIA 2012へのご参加をご検討下さい



開催概要

- 名称：JAPAN EXPO IN RUSSIA 2012
 会期：2012年11月28日(水)～11月29日(木)(2日間) 展示・商談会
 2012年11月30日(金) 現地視察
 会場：ロシア連邦・モスクワ EXPOCENTRE (PAVILION 5)
 主催：JAPAN EXPO IN RUSSIA 2012 実行委員会、
 株式会社JTB法人東京、一般社団法人ロシアNIS貿易会
 後援：ロシア連邦商工会議所、OPORA RUSSIA (ロシア中小企業家組織連盟)、
 JETROモスクワ事務所、日本食文化ロシア普及協会
 URL：<http://www.japanexpo-rus.com>

出展要項

出展対象分野：「食」・「住環境」・「産業・技術」・「カルチャー」に関わる
 製品・技術・サービス等

出展料金：1小間(3m×3m=9㎡) **400,000円**
 (社名表示板、スポットライト、テーブル、椅子、電源、各ブース
 共通アシスタントを含む)

専属通訳料：日露バイリンガル通訳(上級通訳)1日につき 100,000円

出展、視察に伴うツアーも併せて募集致します。詳細は別途ご案内させていただきます。

出展条件

1小間あたりの出展料金に含まれるサービス(一部のサービスをご利用にならない場合も同料金となります)

スペース	9㎡ (3m×3m)	
基本設備	展示用台 × 1	スポットライト × 3
	テーブル × 1	コンセント(単220V) × 1
	椅子 × 4	壁面パネル × 3
	ゴミ箱 × 1	社名表示板 × 1
基本装飾・設営・一定量の電気代及びその工事費	あり	
ブースアシスタント	数社でシェア (ブース内補助員 日本語⇄ロシア語)	
個別商談会	1日1出展者あたり4社程度	

出展料金に含まれないサービス

- 出展物にかかる梱包物、通関費、輸送費、貨物海上保険料、関税及び消費税など
- 展示装飾に係る経費(出展者が独自に必要なとする備品等の設置・借上、撤去費等)
※基本装飾は、行いますが、出展物の展示は各出展者にて行っていただきます。
- 追加電気代(電気配線費含)
- 専属通訳(出展者が手配する自社専用のアテンダント、商談通訳含む)
- 出展物その他の出展者所有物に係る会期中の盗難保険料等
- 旅行代金 ※別途旅行パンフレットをご参照下さい
- その他、前項に定める以外の経費

注意事項

- 1出展者あたりの出展の最小申込単位は1小間とします。
- 小間の基本装飾および施工は主催者が行い、出展物の展示・陳列は出展者が行います。
出展品の展示方法については、雰囲気著しく違う際は、主催者との相談により、指示に従って下さい。
- 小間の位置については、各出展者の展示内容等を考慮し、主催者で決定させていただきます。
- 外国為替および外国貿易法など国内法令に定めのある出展物の出展については、出展者の責任において事前に許可等を取得願います。
(経済産業省安全保障貿易管理課ホームページ: <http://www.meti.go.jp/policy/anpo/>)
- 出展に係る規則は、この「出展ご案内」ならびに「出展要綱」によるものとします。本案内書と「出展要綱」で内容が異なる場合には、本案内書を優先します。
- 出展料金未納による出展はできません。必ず、支払い期日までにお支払いください。

1. 会場フロア図



2. 出展料のお支払いについて

(1) 出展料支払い方法及び支払期限

- ・出展料は10月15日までに所定の口座までお振込み下さい。
- ・お支払いは銀行振込みでお願いいたします。また、振込み手数料は各社ご負担にてお願いいたします。

(2) キャンセル規定

- ・万が一、出展のお申込を取り消し・解約する場合は、その意思を書面にてご提出下さい。
- ・なお、出展申込みの取り消し・解約する場合は、次のとおりのキャンセル料のお支払いが必要となりますので、ご了承ください。

取消・解約の意思表示日	キャンセル料
～2012年10月26日(金)	出展料の50%
～2012年11月27日(火)	出展料の100%

※上記の期日は、出展社から出展取消、解約の意思表示が、書面によりに到達した時点とさせていただきます。

お申込方法・締切

● 提出書類

出展申込書(社印押印済) 1部
会社案内パンフレット 1部

● 出展までのスケジュール

出展お申込 必要事項にご記入、社印および代表者印をご捺印の上「出展申込書」1部及び会社案内パンフレット1部をご用意いただきましたら、頂戴にあがらせていただきます。

ご請求書発行 申込確認書及びご請求書をお届けもしくは、郵送させていただきます。ご請求書発行後、下記の支払い期限までに出席料金をお振込みください。期日までに出席料金をお支払頂きまして、申込が完了となります。なお、期日までにお支払い頂けまないと、出展申込の取り消しとなることがありますので、ご注意頂きたくお願いいたします。

出展申込締切

2012年9月20日

出展品の搬入

指定場所への出展品の搬入 2012年10月中旬
※専門業者をご紹介させて頂き打ち合わせをさせていただきます。

JAPAN EXPO IN RUSSIA 2012 開催

2012年11月28日(水)～29日(木)

● 出展のキャンセルについて

出展者の自己都合による申込後のキャンセルにつきましては、申請日よりキャンセル料が発生します。

お申込日 ～ 10月26日

出席料金の 50%

10月27日 ～ 11月28日 連絡無し、不参加

出席料金の100%

※ キャンセル料は、入金していただいた出席料から差し引くこととし、残額を出展者に返金させていただきます。

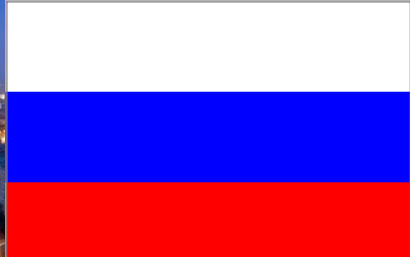
JAPAN EXPO IN RUSSIA 2012運営事務局

東京都新宿区西新宿3-7-1新宿パークタワー26階

TEL:03-5909-8596 FAX:03-5909-8444 E-MAIL:JER@bsec.jp

URL : <http://www.japanexpo-rus.com>

担当:林、小田嶋



JAPAN EXPO IN RUSSIA 2012開催のご案内

会 期：展示会：2012年11月28日(水)～29日(木)

現地視察：2012年11月30日(金)

会 場：モスクワ・EXPOCENTRE (PAVILION 5)

主 催：JAPAN EXPO IN RUSSIA 2012 実行委員会、
株式会社JTB法人東京、一般社団法人ロシアNIS貿易会

後 援：ロシア連邦商工会議所、OPORA RUSSIA(ロシア中小企業家組織連盟)、
JETROモスクワ事務所、日本食文化ロシア普及協会

ロシア経済はリーマンショックからの回復後堅調な成長を継続し、2011年は約4%、2012年も同程度の成長が予測されています。2012年は秋にAPEC首脳会合を控えるほか、2014年にソチ五輪、2018年にはサッカーワールドカップ開催が予定され、引き続き建設を中心とした旺盛な需要が産業全体に波及していく事が期待されます。また、2011年12月にはWTO加盟も正式に承認され、今後世界の対口貿易が急増すると共に、世界貿易におけるロシアの重要性が増すことが確実視されています。

こうした状況を踏まえ、日本企業のロシアへの進出支援とビジネス交流の活発化を目的とした商談・交易の機会として、JAPAN EXPO IN RUSSIA 2012を、昨年のプレ開催に続き本年秋にモスクワにて開催する予定です。本年はビジネスマッチングの機会増大により焦点を絞るべく、現地パートナー候補企業との1対1の商談機会を主軸とし、ご出展企業の参加効果を最大化するようプログラムを設定致します。

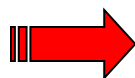
また、本会の開催にとどまらず、企業の皆様の長期的な進出プロセスを多面的にサポートすべく、現地事情に多くの知見を有する企業群から形成されるコンソーシアムを結成する予定です。各方面の有識者の方々よりアドバイスを得ることにより、進出リスクを最小化し、現地市場への長期的な浸透に結びつけることを企図しております。

本企画が、ロシア市場の現状と潜在力に関するより深い理解のための一助になる事を確信しております。

海外進出に関心のある企業の皆様の積極的なご参加をお持ち申し上げる次第です。

JAPAN EXPO IN RUSSIAの特徴

- ①「食」「住環境」「産業・テクノロジー」「カルチャー」をテーマに、日ロ企業のビジネスマッチング
- ②ロシア側バイヤーがモスクワ会場に多数集結
- ③日ロ双方の企業・機関が連携したコンソーシアムによる後援・協力の下、長期的な進出サポート



ロシアへの販路開拓、拡大を図る企業に最適なビジネスチャンス
是非JAPAN EXPO IN RUSSIA 2012へのご出展をご検討下さい。

【第2回セミナー開催予定・裏面もご覧下さい】

JAPAN EXPO IN RUSSIA 2012

第2回セミナー開催のご案内【入場無料・事前登録制】

BRICsの一角を形成し、豊富な資源を原動力に経済成長を続けるロシアは、日本の隣国でありながら日本企業の進出数もまだ少なく、市場が未成熟な分多くの開拓余地が残されています。特に人口1100万人を超えるヨーロッパ最大の都市であるモスクワ首都圏は、所得水準が急速に高まる中で、アジア地域と比較しても高い可処分所得と、旺盛な購買意欲を有する巨大な中間層が出現しています。一方で、西欧と並び日本製品に対するブランド意識も高く、高額な外国製品や外食店が人気を集めています。

この激変するロシア市場への進出機会を探る日本企業の方々と、現地企業とのブリッジング機会として、昨年のプレ開催に引き続き本年秋モスクワにて、日本各企業の製品・サービスをロシア企業に紹介するB2B展示商談会「JAPAN EXPO IN RUSSIA 2012」を開催いたします。

この度、5月に開催しました第1回セミナーに続き、ウラジオストックでのAPECやWTOの発効を控えたロシアの最新動向や、EXPOの具体的な概要をご案内すべく、第2回事前セミナーと下記のスケジュールにて開催する事と致しました。大きな購買力とポテンシャルを有するロシア市場に、より高い関心を持って頂ける機会となることを願っております。是非奮ってご参加下さいませ。

【第2回セミナー開催概要】

日時：2012年8月6日（月）10:00-12:00

会場：東京商工会議所ビル7F 国際会議場

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-2-2

交通機関：JR東京駅、有楽町駅、地下鉄千代田線二重橋前駅、有楽町線有楽町駅、日比谷線・三田線日比谷駅

対象企業：食品・外食関連企業、住宅設備関連企業、工業製品製造業、文化関連産業等

予定内容：・APEC開催、WTO加盟後のロシア政治、経済の最新動向

・JAPAN EXPO IN RUSSIA 2012実施概要

・来場予定バイヤー紹介

・出展に関する諸注意、今後のスケジュール

申込、問合せ：下記に電話、FAXまたはe-mailにて直接お申込下さい。

JTB法人東京 営業推進本部内 JAPAN EXPO IN RUSSIA 運営事務局

担当：林、小田嶋（おだしま）

TEL: 03-5909-8596 FAX: 03-5909-8444 e-mail: jer@bsec.jp

URL: <http://www.japanexpo-rus.com/index.html>

JAPAN EXPO IN RUSSIA第2回セミナー参加申込書 (FAX用:03-5909-8444)

御社名		
ご参加者	(ご参加者①)	(ご参加者②)
ご所属、部署		
TEL		
FAX		
e-mail		
所在地	〒	
業種	食関連・住関連・製造業、テクノロジー関連・カルチャー関連・その他	